



第2回北小っ子学びウィーク終了

11月7日(月)から13日(日)までの1週間、第2回「北小っ子学びウィーク」が行われましたが、家庭でのお子さんの取組状況は如何だったでしょうか？

学校で学んだ内容をしっかりと定着させていくには、家庭学習(宿題、自主勉強)を行っていくことが必要です。毎日必ず家庭学習を行う習慣が身に付いていることは、中学校に進学しても、自身の学力を向上させていくうえでの大きな原動力になっていきます。

また、授業に集中して取り組んだり、家庭学習に粘り強く取り組んだりするためには、基本的な生活習慣がきちんと身に付いていることが大前提になってきます。ゲームやインターネットに夢中になって睡眠不足になり、その結果として、朝ご飯をしっかりと食べないで登校するような生活に陥ってしまうと、学力の向上にも心身の成長にも非常に悪い影響を及ぼします。

この「北小っ子学びウィーク」は、「チャレンジカードに取り組むことによって、家庭における生活を振り返って欲しい(見直すべきことがあれば改善して欲しい)」という趣旨で年3回実施していますので、保護者の皆さんも、お子さんの基本的な生活習慣の定着の度合いを確認する機会にさせていただきたいと思っております。

なお、第2回目となる今回は、家庭学習への取組の成果を見取るための一つの方法として、「学習コンテスト(漢字、計算、算数の活用問題)」を11月11日(金)に実施しましたので、お子さんの結果(学校全体の結果については『輝き No.3』を参照してください)についても把握して、励ましていただきたいと思います。



事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1週間以上前にコンテストの開催と出題範囲を予告する。 ○ 家庭学習を通して、事前に出題範囲の学習をするように促す。
学習コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ① 漢字コンテスト …… 各学年の漢字から50問出題する。 ② 計算コンテスト …… 『アイテム』から20～25問出題する。 ③ 算数の活用問題 …… 『アイテム』から出題する。
事後指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 得点に応じた評価シールを配付して、児童の頑張りを賞賛する。 ○ コンテスト(100点＝金賞 90点＝銀賞 80点＝銅賞) ○ 活用問題(冠＝十分満足できる解答が得られた場合のみ配付する) ○ 再テストで80点を超えた場合は「合格」とする。

自主勉強紹介コーナー

11月の授業参観・学級懇談会に合わせて、北小っ子通りに「自主勉強紹介コーナー」を設置しました。

「北小 家庭学習の手引き」に示された家庭学習の時間のめやすは、「低学年＝30分、中学年＝40分、高学年＝60分」ですが、1年生から6年生まで、宿題以外にも色々な自主勉強を工夫しながら行っていることが分かります。



SSHの出前授業で桐高生10名が来校

11月14日(月)の3・4時間目に、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定(平成19年度~28年度)を受けている桐生高校理数科の1年生11名が来校して、4年生に環境学習の出前授業を行いました。

SSHとは、将来の国際的な科学技術系人材を育成することを目指し、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う事業で、桐生高校では、理数科1年生は全員、2年生以降は理数科の希望者がSSHの諸活動に取り組んでいます。

桐生高校理数科の教諭2名、群馬大学大学院理工学府環境創生部門の教授1名が授業参観を行い、桐高生が作成してきたプレゼンテーションの内容や授業の進め方、授業中の4年生の様子などを見守りました。

授業終了後に群大の宝田教授は、「プレゼンテーションやクイズに対する4年生の反応が素晴らしかった。打てば響くようなとても良いクラスですね」と感想を述べていました。また、桐高生も、「授業が進めやすいクラスで、たいへん楽しかった。環境問題に関心をもってもらえたら嬉しい」と言っていました。



【桐高生の自己紹介】



【一斉指導で授業スタート】



【途中から班別指導に切替】



【クイズ形式で説明】



【MAYUに試乗】



【4年生に大人気のSさんから一言】

つくし学級が販売学習(つくし八百屋)

11月17日(木)の25分休みに、つくし学級の児童2名が職員室に「つくし八百屋」を出店して販売学習を行いました。

学級園で育てて収穫した白菜(1個200円、1/2個100円)と大根(1本100円)を職員に販売し、売上金が2,800円になりました。

「いらっしゃい、いらっしゃい」「ありがとうございました」「毎度あり!」と、たいへん元気に接客し、売れた野菜を新聞紙に包んだり、おつりを渡したりしました。

売り上げたお金は、12月にケーキを作る学習を行う際の材料費に充てることになっています。



【いよいよ開店です】



【白菜を包みます】



【値段を説明します】